

**2023 年度
自己点検・自己評価報告書**

令和 6 年 3 月 31 日現在

埼玉東萌美容専門学校

令和 6 年 3 月 31 日作成

目 次

基準 1	教育理念・目的・育成人材像等	1	基準 6	教育環境	8
基準 2	学校運営	2	基準 7	学生の募集と受け入れ	9
基準 3	教育活動	3	基準 8	財務	10
基準 4	教育成果	5	基準 9	法令等の遵守	11
基準 5	学生支援	6	基準 10	社会貢献	12

基準 1 教育理念・目的・育成人材像等

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
1-1 理念・目的・育成人材像は定められているか	5	学則に掲げている理念及び目的に沿い定めている。	中・長期ビジョン及び学生心得に明記している。		学則 中・長期ビジョン 学生心得
1-2 学校の特色はなにか	5	「笑顔と感動に包まれた教育」を実践し、「美容師力」を備えた実践力のある美容師を育成している。 また、エステ、メイク、ネイルの資格取得も可能である。 施設環境を生かした特色ある授業や職業観の醸成を図る美容業界研究授業やパートナーシップサロンによる授業の実施。	美容師国家資格合格率 97.0% 認定フェイシャル・ホテリエステイション資格 100% メイク検定3級 97.2% メイク検定2級 91.7% 就職内定率 100%	さらなる競合校との特色における差別化が課題である。 学校の特色について常に情報発信していく。	事業計画書
1-3 学校の将来構想を抱いているか	5	中・長期ビジョンの再確認を行った。また、経営改善計画の策定を行い、理事会・評議員会において承認・決定している。	中・長期ビジョンの策定 経営改善計画の策定	中・長期ビジョンの実現に向けての具体的な取組を実施する。 経営改善計画を着実に遂行する。	学校法人小池学園のビジョンについて(2019年6月1日付) 経営改善計画 学則

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
年度当初に校長より学校理念をはじめ学校の特色等について改めて確認がなされた。毎月実施される職員会議にて教職員間での共通理解を深めている。 校内の各教室に学生心得を掲示し、学生への周知を図る。	2023年度卒業生保護者アンケート(2024年3月実施、22名回答)では学校の理念・教育方針について理解した、と答えた保護者は100%だった。2023年度卒業生満足度調査アンケート(2024年3月実施34名回答)では、「実践力のある美容師になる」ことを意識していた、と答えた学生は88.2%だった。

最終更新日付	2024年03月31日	記載責任者	泉 佳奈子
--------	-------------	-------	-------

基準 2 学校運営

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
2-4 運営方針は定められているか	3	教育目標、教育方針及び指導の重点を定めている。	中・長期ビジョン及び学校要覧に明記している。	運営方針を明確にし、職員に徹底すると共に取組への評価、改善を行う。	中・長期ビジョン 学校要覧
2-5 事業計画は定められているか	4	年度事業計画及び行事計画を定め、法人の理事会・評議員会の承認を得ている。	年度事業計画及び年間行事計画の作成		事業計画書 年間行事計画書
2-6 学校運営方針を基に、各種諸規程が整備されているか	3	諸規程を整備している。		諸規程の見直し、整備を継続して実施する。	規程集
2-7 人事や賃金での処遇に関する制度は整備されているか	3	公平な人事・賃金設定を目指している。		人事処遇に関する規程の整備。	就業規則
2-8 意思決定システムは確立されているか	4	意思決定には全て文書による決裁を要する。			伺書
2-9 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4	全館に Wi-Fi を整備。教員 1 人につき 1 台の ipad を使用し、オンライン校務支援システムを導入。6 号館内共有ネットワークにて情報共有が可能となった。		各種ソフトの導入およびシステム化の推進による業務の効率化。	

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学校運営に必要な事項については、理事長の諮問機関である木曜会を経て、理事会、評議員会の承認を得て、厳格に決定される。また、実施に当たっては、伺い書等の文書による決裁を仰いでいる。	オンライン校務支援システム「BLEND」を導入した。

最終更新日付	2024 年 03 月 31 日	記載責任者	泉 佳奈子
--------	------------------	-------	-------

基準 3 教育活動

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
3-10 各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けられているか	4	美容業界等と密接に連携することにより、教育目標の設定および必要とされる人材像を把握し正しく方向づけられている。	職業実践専門課程認定および取組。 インターシップの導入。 現役美容師による技術指導の実施やコラボイベントの開催。		職業実践専門課程関連資料 インターシップ実施要項
3-11 各学科の教育目標、育成人材像を構成する知識、技術、人間性等は、業界の人材ニーズレベルに照らして、また学科の教育期間を勘案して、到達することが可能なレベルとして、明確に定められているか	4	教育の成果を図る基準として、美容師国家試験をはじめ各種資格・検定試験等の合格基準を目安に、到達目標として設定している。	国家試験合格を最低条件とし、国家試験合格へ向けてのステップである校内検定を実施している。 さらに、社会人として必要な接客技術や清掃等についての社会人検定を実施している。	時代と共に変化する業界の人材ニーズレベルに対し、社会人検定の内容などの見直しを継続して実施する。	校内検定実施要綱
3-12 カリキュラムは体系的に編成されているか	5	美容業界の企業等と密接に連携を図り教育課程編成委員会において教育カリキュラムの編成を行っている。	教育課程編成委員会実施 第1回 R5.9.27 (水) 第2回 R6.2.14 (水)	今年度の委員会は規定通り2回実施している。	職業実践専門課程関連資料 教育課程表 教育課程編成委員会実施報告書
3-13 学科の各科目は、カリキュラムの中で適正な位置づけをされているか	5	適正な位置付けがなされている。	美容師養成施設指定規則に基づき、本校のカリキュラムを編成している。		美容師養成施設指定規則 学則 シラバス

3-14 授業評価の実施・評価体制はあるか	3	教務会や卒業生、保護者へのアンケートによる授業評価を継続している。教育課程編成委員会やカリキュラム編成委員会にて時代のニーズに則した授業展開の実施につなげている。また、教員間での面談を実施している。	教務会の実施 教育課程編成委員会の実施 カリキュラム編成委員会の実施 卒業生アンケート 保護者アンケート	教育効果を高めるため授業評価をこまめに実施し、評価体制についても必要に応じて見直しを図る。	卒業生アンケート 保護者アンケート
3-15 育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4	授業を行う教員・講師は、科目に合った資格を有することとしている。また、実技科目は3年以上の美容実務経験者を確保している。	教員の一人が新たに美容技術理論及び美容実習の研修の課程を修了し認定試験に合格。		履歴書 資格証
3-16 成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	5	成績評価・単位認定は定期試験・検定試験及び履修状況、出席状況等の基準を設けている。	定期試験・検定試験における合格基準点の設定および出席状況。		学則 学生心得
3-17 資格取得の指導体制はあるか	4	資格取得に向けての指導体制は整っている。	資格取得に向けての授業展開と特別講座の実施。		

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
2 コース制導入から2クラス制の導入にシフトし、2025年4月1日より定員60名、2クラス制導入に向けて、2024年1月16日（火）学則変更届を埼玉県学事課へ提出し、2024年2月22日（木）に受理された。30名2学級となり、よりきめ細やかな教育の実施が可能となる。	2023年度卒業生アンケート（2024年3月実施、34名回答）では、美容師（外部講師）の授業に関して、100%の学生が満足、やや満足している、と回答している。 2023年度卒業生保護者アンケート（2024年3月実施、22名回答）では、教育活動に関する情報公開は適切に行われた、と答えた保護者は、あてはまる、どちらかといえばあてはまる、をあわせて100%だった。

最終更新日付	2024年03月31日	記載責任者	泉 佳奈子
--------	-------------	-------	-------

基準 4 教育成果

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
4-18 就職率(卒業生就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図られているか	5	進路指導担当者を設置し、1年次から就職指導を行うことにより就職率の向上を図っている。	21年連続就職率 100%である。(2003年度～2023年度)校内就職が「ダグズ、インターシブ」の実施。	今後も早期の就職試験合格対策を検討していきたい。	就職実績一覧
4-19 資格取得率の向上が図られているか	4	2023年度実績 認定フェイシャル・ホテル・エステティシャン資格 100% メイク検定3級 97.2% メイク検定2級 91.7%	2022年度実績 認定エステティシャン資格 75.0% メイク検定3級合格率 81.0% メイク検定2級合格率 100%	受験が任意の検定についても取得の意義を学生に伝え、受験者全員が合格できるよう対策講座を継続する。	
4-20 退学率の低減が図られているか	3	十分に対策を講じているが、本人の進路変更、体調不良等の理由により退学者が出ている。	二者面談の実施、レクリエーション活動、保護者と生徒との共有環境構築のためのシステム「BLEND」導入、入学前指導の回数増加。	入学前指導の充実を図り、入学後は無理なく段階的に学べる環境を整えると共に、生活面についてもサポートを実施する。	
4-21 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3	学校案内や学校ホームページ、SNS、イベント時に卒業生や在校生を紹介。	11月10日の卒業制作発表会時に卒業生2名によるアクションを実施。11月28日には開校25周年記念卒業生トークセッションを実施。	把握しきれていない卒業生の活躍及び評価もあるため、同窓会の整備に取り組む。	学校案内 学校ホームページ SNS

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
退学者防止に関して、入学前より入学前「レレッジ」の実施、担任との二者面談、技術履修手帳(マイカテ)等の利用で学生の学ぶ意欲を継続する仕組みづくり及び保護者にも協力を仰ぎながら学校全体で取り組む。心理面で不安を抱える学生にはカウンセラーの利用について促す。	2023年度卒業生アンケート(2024年3月実施、34名回答)では、資格取得に関して、94.1%の学生が力を入れた、やや力を入れた、と回答している。

最終更新日付	2024年03月31日	記載責任者	泉 佳奈子
--------	-------------	-------	-------

基準5 学生支援

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
5-22 学生の就職・進学指導に関する体制は整備され、有効に機能しているか	4	年間予定を通して就職の早期内定を図る。担任との連携をはかり、きめ細かい指導を行う。	就職レクチャーや進路指導を常時行い、就職希望者の就職率は100%である。 美容業界研究授業、校内就職がイタダスやインターンシップを実施している。	学生自身が率先して就職活動を行う傾向になっていることから今後は学生が欲しい情報を今以上に提供できるよう体制を整える。	
5-23 学生相談に関する体制は整備され、有効に機能しているか	3	各学年担当が相談窓口を担う。 スクールカウンセラーが配置され、相談体制が整っている。	カウンセリングルームの案内を校内に掲示している。	相談内容が多様化、複雑化していることから学校全体で問題の解決を図り、場合によってはスクールカウンセラーについての利用も促す。	
5-24 学生の経済的側面に対する支援が全体的に整備され、有効に機能しているか	4	さまざまな経済的支援制度について積極的に学生に案内、手続きを行っている。	給付型奨学金 貸与型奨学金		
5-25 学生の健康管理を担う組織体制があり、有効に機能しているか	4	環境衛生の担当者を置き、学生の健康管理を担う体制が取れている。入学後の個別面談にて学生の持病等を把握し、必要に応じて保護者から対応方法の聞き取りをしている。救急車要請時のマニュアル作成と各教室に本校住所を掲示している。	年に1回健康診断を実施している。 救急車要請マニュアル		

5-26 課外活動に対する支援体制は整備され、有効に機能しているか	4	学校主催の活動については、実施することができた。	1,2年インターシップ 校外清掃活動 卒業制作発表会 ディズニー研修 文化研修（劇団四季観劇）		
5-27 学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか	3	学校独自の学生寮はないが、遠方からの入学希望者には近隣の不動産会社や学生会館についての案内をしている。	不動産会社と連携している。		不動産会社印刷物
5-28 保護者と適切に連携しているか	5	十分に連携している。保護者へ直接の電話連絡の他、BLENDを利用し、必要に応じて情報の提供を行っている。	BLENDを通じて即時、学生の出欠席の状況や成績状況を保護者が把握することができる。	電話連絡の場合、なるべく勤務時間内で連絡が取れるよう、あらかじめ調整をする。勤務時間外の緊急連絡用に学校携帯を導入している。	保護者アンケート
5-29 卒業生への支援体制はあるか	3	実際に働いていくうえで直面する困難な問題や悩みなどの支援を支援するため美容師(卒業生)支援プログラムがある。	美容師支援プログラムの策定	卒業生への周知が課題だが、ホームページを中心に訴求し、周知に繋げている。	美容師支援プログラム

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>会場を借りての就職ガイダンスでは多くの企業に参加していただき、伊コイによる就職セミナーや美容業界研究授業、インターシップ等の就職支援から早期の内定を実現している。</p> <p>学生相談の内容が多様化、複雑化しており、保護者、スクールカウンセラー、学生の出身高校の担当教員などあらゆる側面から学生のサポートが必要となっている。</p>	<p>2023年度卒業生アンケート（2024年3月実施、34名回答）では、教職員のサポートに関しては、100%の学生が満足、やや満足と回答した。就職のサポートに関しては、100%の学生が満足、やや満足、と回答している。</p> <p>2023年度卒業生保護者アンケート（2024年3月実施、22名回答）では、就職に関する指導・対策は充実していたか、という質問に対し、あてはまる、どちらかといえばあてはまると答えた保護者は100%だった。</p> <p>また、家庭と適切な連携を保っていた、という質問に関しては、あてはまる、どちらかといえばあてはまる、をあわせて95.5%だった。</p>

最終更新日付	2024年03月31日	記載責任者	泉 佳奈子
--------	-------------	-------	-------

基準 6 教育環境

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
6-30 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	5	整備されている。	指導要領に沿った施設・設備において授業を実施している。ホームルーム教室として使用している2教室に実習にも使える机を新規導入。		指導要領
6-31 学外実習、インターンシップ ^o 、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4	2023年度のインターンシップ ^o は5月に2年生、11月に1年生が実施。卒業制作発表会を11月に実施。10月より技術奨励金給付制度を導入し、学外コンテスト等で優秀な成績を収めた学生に奨励金を給付する。	インターンシップ ^o 受入れ側サロンの連携が取れており、サロン側評価を学生指導に活かしている。 技術奨励金給付規程に則り、フットコンテストに受賞した学生に奨励金を支給した。		インターンシップ ^o 実施要領 技術奨励金給付規程
6-32 防災に対する体制は整備されているか	4	年2回の防災点検及び年1回の合同避難訓練（4月13日）を実施している。 学校防災マニュアルを策定した。	防災点検報告書 避難訓練実施要領 大地震発生対処マニュアル		防災点検報告書 避難訓練実施要領 大地震発生対処マニュアル

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
実践的な職業教育を行う為の施設、設備の拡充を行っている。 防災タイムラインを策定し、校内全体で共有を図る。	2023年度卒業生アンケート（2024年3月実施、34名回答）では、教育環境に関して、97.1%の学生が満足、やや満足している、と回答している。

最終更新日付	2024年03月31日	記載責任者	泉 佳奈子
--------	-------------	-------	-------

基準 7 学生の募集と受け入れ

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
7-33 学生募集活動は、適正に行われているか	5	公正な募集活動を行っている。	AO 入試や推薦入試の受付期日等は埼玉県専修学校各種学校協会の申し合わせに従い適切に対応している。		学校案内 募集要項 令和5年3月1日埼専各第60号
7-34 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	5	適切かつ公正な情報を伝えている。	合格率、就職率等の数字はそれに係る根拠を適切に示している。 コンテスト、競技大会等の結果についても同様である。		美容師国家試験実施結果（理容師美容師試験研修センター）等
7-35 入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか	5	入学選考にあたり、基本的人権の尊重と教育の機会均等に配慮している。	令和5年5月10日付学事第152号「公正な入学者選抜」に係る書類等の取扱いについて（通知）に基づいている。		令和5年5月10日付学事第152号
7-36 学納金は妥当なものとなっているか	5	妥当である。	教育活動上妥当である。		学則

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
2023年度学生募集については、35名の入学者にて終了。	出願者数 35名 合格者数 35名 入学手続者数 35名 入学者数 35名

最終更新日付	2024年03月31日	記載責任者	泉 佳奈子
--------	-------------	-------	-------

基準 8 財務

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
8-37 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	中途退学者の増加により学生生徒納付金が減少したが収支は安定している。	2024年度入学者数 35名 2023年度入学者数 39名 2022年度入学者数 40名	中・長期ビジョン実現に向けた具体的取組と魅力ある学校づくりによる定員の充足。	貸借対照表 事業活動収支決算書
8-38 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	妥当である。	予算書、収支計画書を作成し理事会の承認をもらっている。補正予算を作成して計画との誤差を少なくしている。		予算書 決算書
8-39 財務について会計監査が適正におこなわれているか	5	適正に行われている。	監査法人による監査を実施（年 10 回）。 監事による監査を実施（年 2 回）。		監査報告書 理事会議事録 事業報告書
8-40 財務情報公開の体制整備はできているか	5	財務情報公開資料を事務室に備え付けていると共にホームページ上で公開している。	情報公開資料を作成している。		財務情報公開資料

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
経常収支差額及び基本金組入前当年度収支差額が前年度と比較し減少したが収支は安定している。	

最終更新日付	2024年03月31日	記載責任者	泉 佳奈子
--------	-------------	-------	-------

基準 9 法令等の遵守

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
9-41 法令や専修学校設置基準等が遵守され、適正な運営がなされているか	5	運営している。 例年、教職員研修を実施し、学園を挙げて法令遵守に取り組んでいる。	設置基準等に基づいた内容である。 2024年3月18日に学園研修実施。		美容師養成施設指定基準等 諸規程
9-42 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	5	対策している。	個人データはセキュリティを施し、持ち出しはしないようにしている。 2023年8月25日学園研修実施。	学校行事やオープンキャンパス等を撮影した写真をHP等へ掲載する際には、肖像権使用同意書を取り、本人の同意を確認した上で掲載している。	個人情報保護ガイドライン
9-43 自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	5	職業実践専門課程の学校関係者評価委員会を実施し、自己点検の検証を行っている。	職業実践専門課程の認定及び取組。		職業実践専門課程関連資料
9-44 自己点検・自己評価結果の公開はしているか	5	自己点検・自己評価の結果に基づいて実施される学校関係者評価委員会の報告を公開している。	本校ホームページ上で公開している。		本校ホームページ

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
2023年8月25日に株式会社ビズアップ総研、佐藤陽介様による情報セキュリティ研修、2024年3月18日には、「ハラスメントを防止する～アンコンシャス・バイアスによるハラスメントとは～」というテーマで、一般社団法人 UNIVA 理事野口晃菜様によるオンライン研修を行った。	
最終更新日付	2024年03月31日
記載責任者	泉 佳奈子

基準 10 社会貢献

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
10-45 広く教育機関、企業・団体、および地域との連携・交流を図っているか	4	美容関係の企業等との連携は密接に行っている。地域住民との交流を図る学園祭（東萌感謝祭）開催。また、企業、地域 NPO 法人主催のボランティア活動に参加した。	職業実践専門課程の認定及び取組。 2023 年度ボランティア活動 ・ 5/21（日）まるななマーケット ・ 7/29（土）はじめてのおしごと体験 ・ 8/19（土）・20（日）泡あわボンボン ・ 9/9（土）ななサボまつり ・ 11/12（日）まるななマーケット ・ 10/7（土）、10/8（日）東萌祭 ・ 12/2（土）一日子ども商店街 ・ 3/26（火）プレミア教室		
10-46 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4	学年ごとに校外清掃活動を実施した。彩の国ロードサポート団体に登録し清掃活動を実施。	2023 年度清掃活動 ・ 4/21（金）、11/22（水）美容科 2 年生実施、5/12（金）美容科 1 年生実施。 雨天により中止した日程あり。		

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
少しずつ多方面からのボランティア協力要請が増えてきている。今後も継続して地域と連携・交流を図りながら社会貢献に務める。	

最終更新日付	2024 年 03 月 31 日	記載責任者	泉 佳奈子
--------	------------------	-------	-------